



令和7年3月21日

福岡市政記者各位

経済観光文化局文化振興課

## 福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞 受賞者の決定及び贈呈式の開催について

令和6年度福岡市文化賞及び福岡市民文化活動功労賞の受賞者が決定しました。贈呈式を下記のとおり行いますのでお知らせいたします。ぜひ、取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 福岡市文化賞

芸術を中心とした福岡市の文化の向上発展に貢献し、特にその功績が顕著な個人、団体を表彰することにより、市の芸術文化活動の推進を図ります。

【制度創設】昭和51年度（今年で第49回目）

【受賞者累計】171名7団体（令和5年度まで）

【受賞基準】本市の文学、音楽、美術及びその他の芸術芸能等の向上発展に貢献し特にその功績が顕著であるもの

#### 令和6年度受賞者

音楽（邦楽） かわはら しょうこ 河原 抄子

文学（小説） すずき ゆうい 鈴木 結生

文学（小説、詩、短歌） たけなか ゆうこ 竹中 優子

美術（工芸） なかむら ひろみね 中村 弘峰

### 福岡市民文化活動功労賞

市民文化を育てる諸活動に努め、潤いのあるまちづくりに貢献し、特にその功績が顕著な個人、団体を表彰することにより、市民文化活動の推進を図ります。

【制度創設】平成6年度（今年で第31回目）

【受賞者累計】36名27団体（令和5年度まで）

【受賞基準】地域に根ざした文化活動や、地域の文化団体等の支援と育成、また、国際的な文化の交流活動を通じて、本市の市民文化の振興に多年貢献したもの

#### 令和6年度受賞者

【地域に根ざした文化活動】

しゃかいふくしほうじん ジョイあす いぶき  
社会福祉法人 JOY 明日への息吹

しょうがいふくしサービス事業所 ジョイくらぶ  
障害福祉サービス事業所 JOY 倶楽部

【国際的な文化の交流活動を通じた、相互理解や交流の促進】

とくていひえいりかつどうほうじん  
特定非営利活動法人

ティエンポ・イベロアメリカノ

### 贈呈式

日時 令和7年3月29日（土）11時～

場所 ソラリア西鉄ホテル福岡 彩雲「月」

（福岡市中央区天神2丁目2-4 3 ソラリアプラザ8階）

#### <添付資料>

- ・別紙1）令和6年度福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞の受賞者について
- ・別紙2）令和6年度福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞の選考にあたって（総評）
- ・別紙3）福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞功績調書
- ・別紙4）贈呈式 次第

#### 【問い合わせ先】

経済観光文化局文化振興課 平井  
（電話：092-711-4664 内線1801）

【福岡市文化賞】



伝統的な古典曲のみならず、現代のモダンな箏曲にも芸域を広め、国内外で長年にわたり演奏活動を行うほか、後進の育成にも多大な力を注ぐなど、音楽分野の向上発展に貢献している。

河原 抄子



小説『ゲートはすべてを言った』で、第172回芥川龍之介賞に初めてのノミネートで受賞となるなど、活発な創作活動を行い、文学分野の向上発展に貢献している。

©朝日新聞出版写真映像部 上田 泰世

鈴木 結生



歌人や詩人として活動するほか、小説家デビューし、小説『ダンス』で芥川賞にノミネートされるなど、ジャンルを問わず全国レベルの賞で実績を収め、文学分野の向上発展に貢献している。

竹中 優子



博多祇園山笠の昇山の制作など地域に根付いた活動を続けるほか、大名ガーデンシティに設置されたモニュメント『大名の大狒犬』の制作を手掛けるなど、美術分野の向上発展に貢献している。

©マツモトカズオ

中村 弘峰

【福岡市民文化活動功労賞】



音楽活動を行う「JOY倶楽部ミュージックアンサンブル」と、アート制作を行う「アトリエブラヴォ」による活動で企業や地域において数多くの実績と成果をあげ、音楽・美術分野の向上発展に寄与している。



各種文化講座や、海外からミュージシャンやダンサーを招聘するフェスティバルなどの企画及び運営を行い、イベロアメリカ諸国の文化を通じた異文化交流の促進と相互理解の発展に寄与している。

社会福祉法人

JOY明日への息吹

障害福祉サービス事業所

JOY倶楽部

特定非営利活動法人

ティエンポ・イベロアメリカーノ

## 令和6年度 福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞の選考にあたって（総評）

文化賞、市民文化活動功労賞の候補者の公募に応じて、文学5名・1団体、音楽8名・2団体、美術3名、演劇5名・3団体、舞踊1名・1団体、能楽2名、華道1名、書道3名、その他2名・4団体の、あわせて30名・11団体の推薦が寄せられた。

選考においては、まず事前に各選考委員が推薦書（主な活動歴・作品・受賞歴等）をもとに賞に相応しい候補者を検討し、選考委員会では各委員が推挙する候補者について評価理由を述べ、様々な角度から議論を行い合議制で受賞候補者の選考を行った。

文化賞においては、河原抄子さんは、箏・十七絃奏者として伝統的な古典曲のみならず、現代のモダンな箏曲にも芸域を広め、箏・十七絃リサイタルなどの演奏会を定期的に開催するほか、後進の育成・指導に注力するなど、国内外での積極的な活動が評価された。鈴木結生さんは、小説『ゲートはすべてを言った』で第172回芥川龍之介賞に初めてのノミネートで受賞となり、新進気鋭の作家として評価された。竹中優子さんは、歌人や詩人として活動するほか、小説家デビューし、小説『ダンス』で芥川賞にノミネートされるなど、ジャンルを問わず全国レベルの賞において実績を収め、特異な才能を持つ点が評価された。中村弘峰さんは、博多祇園山笠の昇山の制作など地域に根付いた活動続けるほか、大名ガーデンシティに設置されたモニュメント『大名の大狛犬』の制作を手掛け、伝統を重んじつつ現代性を取り入れた作品が評価された。

市民文化活動功労賞においては、社会福祉法人 JOY 明日への息吹 障害福祉サービス事業所 JOY 倶楽部は、音楽活動を行う「JOY 倶楽部ミュージックアンサンブル」と、アート制作を行う「アトリエブラヴォ」による活動において、一人ひとりの社会参加を可能にし、企業や地域において数多くの実績と成果をあげ、地域文化の振興に貢献している点が評価された。特定非営利活動法人ティエンポ・イベロアメリカーノは、イベロアメリカ諸国に関する、各種文化講座や海外からミュージシャンやダンサーを招聘するフェスティバルなどの企画及び運営を行い、長年にわたり国際的な文化交流活動を通じた、相互理解や交流の促進に尽力している点が評価された。

最後に、受賞された皆様をはじめ、今回候補者として推薦された皆様の今後ますますのご活躍を祈念するとともに、引き続き福岡市の文化の向上発展と市民文化の育成にご尽力いただくことを期待している。

福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞 選考委員会

## 選考委員（五十音順、敬称略）

岩熊 正道（RKB毎日放送株式会社代表取締役専務取締役）	深町 健二郎（音楽プロデューサー）
大塚 ムネト（ギンギラ太陽's 主宰）	松隈 浩之（九州大学大学院芸術工学研究院准教授）
小野 哲司（福岡市文化芸術振興財団専務理事）	光行 洋子（九州産業大学名誉教授）
北里 晋（福岡文化連盟事務局長）	山本 百合子（福岡教育大学教授）
桜川 冴子（歌人・福岡女学院准教授）	吉田 由布子（福岡教育大学名誉教授）

## 福岡市文化賞功績調書

*部 門 邦楽 (箏・十七絃)	
氏名	生年
かわはら しょうこ 河原 抄子	昭和47年 (53歳)
職業	箏・十七絃奏者
<p>福岡市中央区在住。東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲専攻卒業。 十七絃箏の第一人者として国内外で活躍した菊地梯子氏に師事。 平成10年より、「箏・十七絃リサイタル」「十七絃リサイタル」を福岡と東京で開催し、伝統的な古典曲のみならず、現代のモダンな箏曲にも芸域を広め、長年にわたり演奏活動を行っている。また、韓国やドイツ、アメリカなどの海外で開催されるイベントや音楽祭に多数出演するなど、国際的な舞台でも活躍。</p> <p>その他、小学校等で日本の伝統文化や音楽の鑑賞・体験プログラムを実施するほか、中学校・高校・大学で講師として後進の育成に努めるなど、音楽分野の普及・発展に尽力している。</p> <p><b>【受賞歴】</b></p> <p>平成11年 第6回賢順記念全国箏曲コンクール奨励賞</p> <p>平成25年 福岡文化連盟青木秀奨励賞</p>	

## 福岡市文化賞功績調書

*部 門 文学（小説）	
氏名	生年
すずき ゆうい 鈴木 結生	平成13年（23歳）
職 業	小説家
<p>福岡市在住。西南学院大学外国語学部卒業、西南学院大学大学院外国語学研究科（英文学専攻）在学中。</p> <p>西南学院大学在学中の令和6年、小説「人にはどれほどの本がいるか」で第10回林芙美子文学賞佳作を受けてデビューする。</p> <p>同大学大学院在学中の令和7年、小説『ゲートはすべてを言った』で第172回芥川龍之介賞受賞。</p> <p>英文学の研究をするかたわら活発な創作活動を行い、文学分野の普及・発展に尽力している。</p> <p><b>【受賞歴】</b></p> <p>令和6年 第10回林芙美子文学賞佳作</p> <p>令和7年 第172回芥川龍之介賞</p> <p><b>【著書】</b></p> <p>令和6年 小説「人にはどれほどの本がいるか」（『小説トリッパー』2024年春季号所収）</p> <p>令和7年 小説『ゲートはすべてを言った』</p>	

## 福岡市文化賞功績調書

*部 門 文学（小説、詩、短歌）	
氏名	生年
たけなか ゆうこ 竹中 優子	昭和57年（42歳）
職業	小説家、詩人、歌人
<p>福岡市西区在住。早稲田大学第一文学部卒業。</p> <p>超結社歌会「福岡歌会（仮）」への参加を経て、「未来短歌会・黒瀬珂瀾選歌欄」に入会。</p> <p>平成28年、「輪をつくる」50首で第62回角川短歌賞、令和4年、第一歌集『輪をつくる』で第48回現代歌人集会賞、第23回現代短歌新人賞受賞。同年、第60回現代詩手帖賞受賞。令和5年、第一詩集『冬が終わるとき』で第28回中原中也賞最終候補。令和6年、投稿小説「ダンス」で第56回新潮新人賞を受賞し、第172回芥川龍之介賞の候補となる。</p> <p>小説、詩、短歌のジャンルに跨って活発な創作活動を行い、文学分野の普及・発展に尽力している。</p> <p><b>【受賞歴】</b></p> <p>平成28年 第62回角川短歌賞 令和3年 第52回福岡市文学賞 令和4年 第48回現代歌人集会賞 第23回現代短歌新人賞 第60回現代詩手帖賞 令和6年 第56回新潮新人賞</p> <p><b>【著書】</b></p> <p>令和3年 歌集『歌集 輪をつくる』 令和4年 詩集『冬が終わるとき』 令和6年 詩集『汐入町と洗濯機』 令和7年 小説『ダンス』</p>	

## 福岡市文化賞功績調書

* 部 門 伝統工芸	
氏名	生年
<small>なかむら ひろみね</small> 中村 弘峰	昭和61年（39歳）
職 業	人形師
<p>福岡市中央区在住。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。</p> <p>中村人形3代目である父・中村信喬氏に師事。太宰府天満宮の干支置物や博多祇園山笠の土居流舁山の制作に携わる。</p> <p>伝統を重んじつつ現代性を取り入れた作品を手がけ、五月人形と、野球やアメリカンフットボールなどのスポーツ選手をかけ合わせた「アスリートシリーズ」や、自然が人間の行いを見ているというメッセージが込められた「グリーンアイズシリーズ」などの代表作は高い評価を受けている。</p> <p>その他、制作を手掛けた大名ガーデンシティのモニュメント『大名の大狢犬』は、多くの人が集まる憩いの場としてまちのシンボルになるなど、伝統工芸分野の普及・発展に尽力している。</p> <p><b>【主な受賞歴】</b></p> <p>平成25年 第60回日本伝統工芸展新人賞</p> <p>平成27年 第50回西部伝統工芸展福岡市長賞</p> <p>平成28年 第3回金沢・世界工芸トリエンナーレ コンペティション部門優秀賞</p> <p>平成29年 伝統工芸創作人形展in金沢中村記念美術館賞</p> <p>令和元年 第54回西部伝統工芸展日本工芸会賞</p> <p>令和2年 九州芸文館トリエンナーレ大賞</p> <p>令和3年 西部伝統工芸展日本工芸会賞</p> <p>令和5年 福岡県文化賞奨励部門</p> <p>令和5年 第70回日本伝統工芸展朝日新聞社賞</p>	

## 福岡市民文化活動功労賞功績調書

<b>* 部 門</b>	地域に根ざした文化活動	
	団体名	設立
	<small>しゃかいふくしほうじん</small> ジョイあす いぶき <b>社会福祉法人 JOY明日への息吹</b> <small>しょうがいふくし</small> <small>じぎょうしょ</small> ジョイくらぶ <b>障害福祉サービス事業所 JOY倶楽部</b>	1993年（31年）
<b>職 業</b>	—	
<p>1993年、障がいのある人たちの文化的な活動を目的として「JOY倶楽部」を結成。1997年に仕事としての演奏活動、アート活動を通じて社会と繋がるために無認可作業所「JOY倶楽部プラザ」を福岡市博多区に開設。2001年、社会福祉法人の認可を受け、「福岡障害者文化事業協会 JOY倶楽部プラザ」として博多区東月隈に音楽スタジオ・アトリエを兼ねた施設を新規設置。</p> <p>2011年、「社会福祉法人 JOY明日への息吹」に法人名を改称。</p> <p>現在は、障害福祉サービス事業所 就労継続支援B型事業として運営し、音楽活動を行う「JOY倶楽部ミュージックアンサンブル」と、アート制作を行う「アトリエブラヴォ」の2つのグループが福岡市内外で活動している。</p> <p>長年にわたる創作活動等は、障がいを持つ青年たち一人ひとりの社会参加を可能にし、活躍の場を創出するほか、企業や地域において数多くの繋がりを大切にし、地域文化の振興に貢献している。</p> <p>合言葉は「お呼びがかかればどこへでも・・・」</p>		

## 福岡市民文化活動功労賞功績調書

*部 門	国際的な文化の交流活動を通じた、相互理解や交流の促進	
	団体名	設立
	<small>とくていひえいりかつどうほうじん</small> 特定非営利活動法人 ティエンポ・イベロアメリカーノ	平成9年（27年）
職 業	—	
<p>平成9年、イベロアメリカ諸国（ラテンアメリカ、イベリア半島、及びカリブ海諸国）の文化を通じて、人と人との交流を促進し、相互理解を深めることにより、文化の振興と異文化交流の発展に寄与することを目的に、非営利団体「ラテン文化センター ティエンポ・イベロアメリカーノ」を設立。平成17年、特定非営利活動法人「ティエンポ・イベロアメリカーノ」としてNPO法人認定を受ける。</p> <p>語学・ダンス・アート・音楽などの文化講座の開講、海外からのミュージシャンやダンサーを招聘するフェスティバルの企画・運営、さらには食文化の紹介活動など、多岐にわたる取り組みを展開。長年にわたり、異文化理解を深める活動を実施し、異文化交流の促進と相互理解の発展に貢献している。</p>		

# 令和6年度 第49回福岡市文化賞・第31回福岡市民文化活動功労賞 贈呈式 次第

日時：令和7年3月29日（土）11時00分～  
会場：ソラリア西鉄ホテル福岡 彩雲「月」

1 開式

2 主催者挨拶

3 来賓紹介

4 贈呈

(1) 福岡市文化賞

【音楽（邦楽）】 河原 抄子 様

【文学（小説）】 鈴木 結生 様

【文学（小説・詩・短歌）】 竹中 優子 様

【美術（工芸）】 中村 弘峰 様

(2) 福岡市民文化活動功労賞

【地域に根ざした文化活動】

社会福祉法人 JOY明日への息吹  
障害福祉サービス事業所 JOY倶楽部 様

【国際的な文化の交流活動を通じた、相互理解や交流の促進】

特定非営利活動法人 ティエンポ・イベロアメリカーノ 様

5 お祝いのことば

6 受賞者記念挨拶

7 閉式